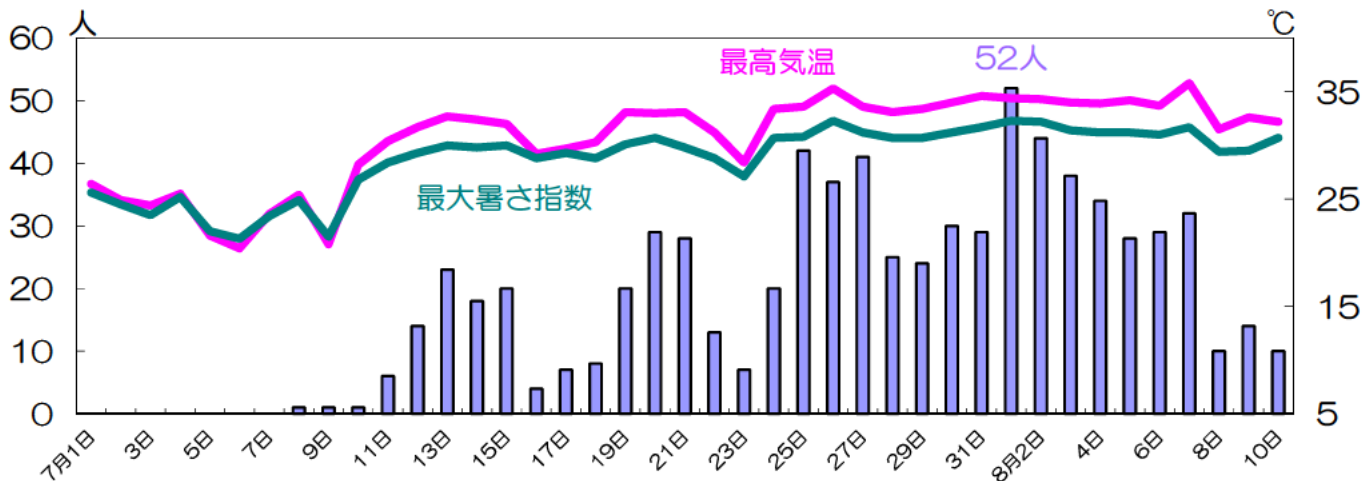


熱中症情報

<搬送数>

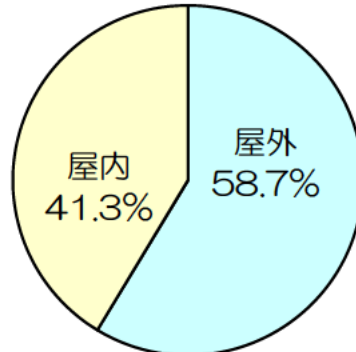
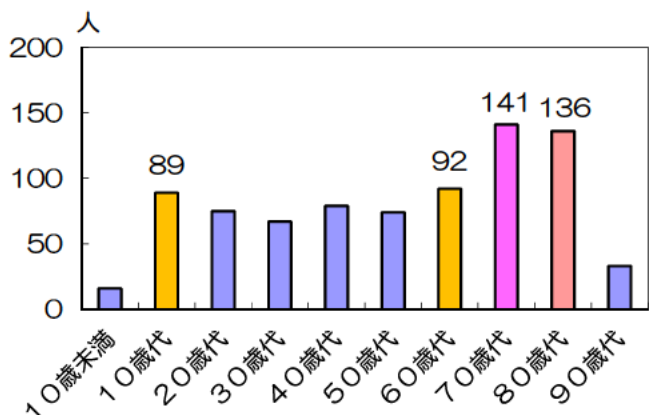
平成27年5月1日～8月10日までの搬送数（消防局データを使用）は、計803人（5月31人、6月33人、7月448人、8月291人）でした。7月19日以降、最高気温が33℃を超える日が多く、搬送数が急増しました。高齢者は室内でエアコンを使用しておらず、重症化する傾向が見られます。適切にエアコンを使用し、室温を下げ、こまめに水分を取る事が大切です。



暑さ指数とは? 人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標
 詳細は「[環境省熱中症予防情報（暑さ指数（WBGT）について学ぼう）](#)」をご覧ください。

<年齢別> 年齢別では、70歳代が17.6%と、一番多く、次に80歳代が16.9%、60歳代、10歳代の順でした。

<発生場所> 屋外58.7%、屋内41.3%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症63.3%、中等症33.3%、重症2.6%、重篤0.9%でした。重症以上は28人（重症21人、重篤7人）、90歳代が2人、80歳代8人、70歳代6人でした。年齢が高くなるにつれ、中等症以上の割合が2倍以上増加し、重症化する傾向が伺えます。

